

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		コミュニティバス運行事業		担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44312	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市コミュニティバス運行に関する協定書					
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、市内の高齢者や運転免許証を持たない人などの市内移動の確保および円滑化を図ることを目的に、コミュニティバス「くるりん」の運行を行うものである。								
目的 ※何のために		市内の公共交通による移動手段の確保。								
対象 ※誰・何を対象に		主に市内の高齢者や運転免許証を持たない人などの交通弱者。								
手段 ※どのように		コミュニティバス「くるりん」を市内全域で運行する。								
成果 ※何を求めるか		移動手段のない市内の高齢者など交通弱者が、円滑に移動できる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 民間事業者 )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	コミュニティバス運行事業	255,965,468
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	ふかやえパワー地域公共交通支援基金積立金	15,001,500
本事業の 主な業務		・コミュニティバス運行業務					・			
		・深谷市地域公共交通会議運営					・			
		・自動運転バス事業					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		コミュニティバス運行事業、深谷市地域公共交通会議運営	コミュニティバス運行事業、深谷市地域公共交通計画の策定、深谷市地域公共交通会議運営	コミュニティバス運行事業、深谷市地域公共交通会議運営、自動運転バス事業	コミュニティバス運行事業、深谷市地域公共交通会議運営、自動運転バス事業		
事業費	予算(現額)	126,218,000	159,031,000	295,142,000	246,066,000		
	決算額	93,428,653	130,935,465	270,966,968	0		
	財源内訳	国支出金	0	9,686,864	119,739,004	120,000,000	
		県支出金	0	0	10,000,000	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	15,000,000	25,001,500	33,000	
	一般財源	93,428,653	106,248,601	116,226,464	126,033,000		
人件費	従事職員数(人)	0.76	0.76	0.58	0.70		
	人件費相当試算※	5,980,864	6,087,726	4,768,900	5,969,474		
総事業費試算		99,409,517	137,023,191	275,735,868	252,035,474		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	運行业者への事業費負担額	目標値	百万円	120.00	120.00	120.00			
		実績値		91.08	91.47	89.95			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		運行経費－運賃収入－国庫補助金収入／運行事業者への支払い実績						
	実績値の算出式								
成果指標 1	運行コース数	目標値	コース						
		実績値		9.00	9.00	9.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		運行コース数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。 / 運行コース数の実績						
	実績値の算出式								
成果指標 2	1日の運行本数	目標値	便						
		実績値		80.00	80.00	80.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		1日の運行本数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。 / 実際の運行本数						
	実績値の算出式								
成果指標 3	年間運行日数（くるりん）	目標値	日	359.00	360.00	359.00			
		実績値		359.00	360.00	359.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年末年始の6日間を除く毎日 / 実動運行日数						
	実績値の算出式								
成果指標 4	年間利用者数	目標値	千人	151.90	153.50	155.10			
		実績値		93.59	110.96	121.17			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		H3 1までの値は総合振興計画に基づく。R2以降はコミバス再編計画の値が目標値 / 運行事業者からの報告による						
	実績値の算出式								
成果指標 5	1日あたりの利用者数	目標値	人	423.10	426.35	431.91			
		実績値		260.60	308.21	337.52			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		成果指標 4 ÷ 成果指標 3 / 年間利用者数／運行日数						
	実績値の算出式								

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

#### （1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	年間利用者について約1万人増加し、運行事業者に対する市からの負担金も前年度から減少した。そのため、乗車人数の増加に伴い運賃収入が改善し、事業運営の適正化が徐々に進んでいると評価した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	年間利用者数、1日あたりの利用者数ともに、目標値にとどかなかった年間利用者数における目標値との乖離は、令和5年度は-42.54千人であったものが、令和6年度は-33.93千人となり、8.61千人改善が見られた。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽

#### （2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	民間事業者への運行委託を行い一定の効率化は図られている。また、バスロケーションサービスや自動乗降カウントシステムなどのデジタル化、デマンドバスのweb予約も導入済となっている。
			評価者 市街地整備係 松本 拓陽